

医療看護介護公開セミナー

当院では、患者さまならびにご家族さまを対象に、さまざまな職種による公開セミナーを毎月開催しています。入院中はもちろんのこと、退院後にも役立てていただけるよう、疾患に関する知識や療養上の注意点、各種制度のご案内など幅広い内容を取り上げています。

みなさまのご参加を、
スタッフ一同お待ちしています。

- 時間 13時30分～
- 場所 4階デイルーム

日付	時間	担当部門
7月22日(土)	13:30～14:20	リハビリテーション部
8月26日(土)		薬剤部
9月23日(土)		介護
10月28日(土)		看護部
11月28日(土)		医事課
12月23日(土)		社会福祉相談室



※日程および担当講師は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
なお予定変更となる場合は、当院ホームページにてお知らせします。



4月13日

麺食可能な患者様用



担担麺風味噌ラーメン
焼壳
中華風和え物
杏仁デザート

麺食不可能な患者様用



ご飯
酢豚
焼壳
中華風和え物
杏仁デザート
中華スープ(わかめ・白菜)

栄養科では、毎月季節を意識した
メニュー、普段とは異なるメニューを
とりこんだ行事食を提供しています。
患者様に喜んでいただけるお食事を
心がけています。

4月26日 花祭り



いなり寿司(ひじき・ガリ&錦糸卵)
炒り鶏
スナップエンドウの和え物
いちごババロア
すまし汁(豆腐・みつば)

5月5日 こどもの日



ちらし寿司(小松菜・海老・錦糸卵)
山芋梅しそ巻き
鯉のぼりまんじゅう
豚汁(豚肉・人参・大根・里芋)

5月24日 運動会



桜えびの炊込みご飯
天ぷら盛り合わせ
和え物
デザート
すまし汁(みつば・花麸)

<病院理念>
幸せ・満足に貢献する病院

<基本方針>
○高度な医療・看護・リハビリテーションの知識を高め実践します。
○チームアプローチに基づいた医療を提供します。
○早期の患者様の社会復帰を目指します。

IMS(イムス)グループ 医療法人 三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

〒341-0034 埼玉県三郷市新和 5-207
TEL 048-953-1211(代表) URL http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/

PASSO 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報を伝えするコミュニケーションペーパーです。



2017年7月
Vol.15

Contents 今号のPASSO

- P1 常勤医師のご紹介
P2 「看護フェスティバル」を開催しました!

- P3 退院患者様からのお手紙
P4 介護部門のご紹介
医療看護介護公開セミナー
行事食メニューのご紹介



Greeting 常勤医師のご紹介

4月より入職しました、医師の堀田さやかと申します。

これまで慢性期病院(療養型や透析病棟)に勤務をさせて頂き、常に「リハビリテーション」は不可欠のものでしたが、私はほとんど書類上の指示出しにとどまっておりました。しかし、あるとき、「リハビリテーション」の効果は運動器の機能回復、脳機能の改善(認知症、うつ等)にとどまらず、内臓機能の回復(異常心電図の正常化等)にも及ぶことを経験しました。全身が一体であること、さらに医療と生活を結ぶホリスティックなリハビリテーション医学に関心が深まり、今回入職させて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。



Greeting 薬剤師のご紹介

薬剤部責任者として赴任しました森山です。以前の病院では、循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、内科、呼吸器内科などの病棟に配属され、主に病棟薬剤師として他職種と連携を密に取り業務を行っていました。

赴任してから慣れない業務も多くあり、まだまだ勉強が足りないと実感している今日この頃ですが、これまでの経験を生かし、患者様のために薬剤部として何ができるかを常に考え業務を行っていきたいと考えております。薬のことはなんでも聞ける顔の見える薬剤部を目指して行きますので、薬に関することはお気軽にご相談下さい。





看護フェスティバル

5月21日(土)イトーヨーカドー三郷店にて
開催しました!



看護の日とは、、、

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。

メインテーマは「看護の心をみんなの心に」。気軽に看護にふれていただける楽しい行事が、全国各地で行われます。(日本看護協会より)

イベントを通じて、地域の方に医療への関心だけでなく当院を知っていただく良い機会になったと思います。また来年も開催予定ですので、是非ご来場ください!!



退院患者様からのお手紙



新松戸中央総合病院から貴病院に転院(2016.12.5)以来、大変お世話になりました。
家族としての感謝を貴院への印象を語ることで表現させて頂きたく存じます。
本当にありがとうございました。

1 ホスピタリズム対応

- ① 声掛けが豊富：「～しますよ」「～してよいですか」「すみません」「～ですよ」「どうかしましたか」など。
- ② 歌のCD：歌のCD、ロビーにいる人たちでテーブルを囲み、懐かしい歌を聴くプログラムがあり、自然と手拍子が起る心和むプログラムでした。
- ③ ナースコールへの反応が速い：すぐに来室してくださるので「ケアされている」「忘れられていない」と安心感が与えられていると思いました。

2 チームワーク

- ① どなたでもすぐ対応して下さるチームワークのよさがあると思いました。
「分担の枠」に縛られない柔軟性は患者のためにはありがたいと思われました。
- ② 情報伝達が速い：ひとつの情報が短時間に連携セクションに伝達されているのは家族にとって安心感のもとになった。
- ③ 家族にとってはチームワークの「もとじめ」がわかりにくいけれど、ソーシャルワーカーがコーディネーターとしての働きをしてくれたので安心感がありました。

3 リハビリテーション

- 今の時代に「個別対応・ヒューマンケア」のありがたさを味わいました。
1日3セッションの作業中の会話は心身のリハビリテーションになると思いました。リハビリ専門の病院の名に恥じないものがありました。
- ① 導入のことばがけ：「小野寺の代理の平松です」との自己紹介は、小野寺さんのプログラムを展開する平松さんであると理解でき、一貫性のある指導・訓練であるとの安心感が得られました。
 - ② リレーションづくり：身体接触の前に人間関係づくりとして数分の雑談は有効と思いました。
 - ③ 拒否への対応：リハビリをしつぶる患者への対応(モチベート対応)は軟らかで好感が持てました。
例)「すぐに帰りたい」と云う患者に「はい、では帰る前に最後のマッサージをしましょう」

4 退院の準備

- ① 退院検討会議は家族の留意点を学ぶのに有効でした。ナース、セラピストそれぞれの観察・評価は家族にとって示唆に富むものでした。
- ② 足の爪までケアして頂き永年気にしていたことが解消しました。感謝です。
- ③ 帰宅後のクスリと食事について：個別指導を企画して頂き、在宅復帰支援に貴病院のご高配を感じました。

5 事務局

- ① 対応に心が感じられる：例)夜遅くタクシーが来るまで雑談の相手をして頂き、暗い気持ちに救いがありました。
社会人としてのチーム医療参加という印象でした。
- ② 2Fロビーに食堂、リビングルーム、教室の兼用で解放感があり、空間がとても心を癒すものがありました。
- ③ スタッフステーションに高い仕切りがなく患者が気楽にコンタクトでき、スタッフの仕事を見るだけでも孤独が減少すると思いました。

Topics

介護部門の紹介

通所リハビリ(デイケア)

お問い合わせ先
☎ 048-953-1254

通所リハビリでは、要介護認定を受けた方を対象に、理学療法士・作業療法士によるリハビリ、入浴、昼食、レクリエーション、季節毎の行事などを行い、充実した時間を過ごしていただいております。リハビリのみを行う短時間利用もございます。見学・体験も行っていますので、興味のある方は是非一度お越しください!

訪問リハビリ

お問い合わせ先
☎ 048-953-1211

訪問リハビリテーションとは、医師の指示のもと、リハビリ専門職がご利用者様の自宅を訪問し、可能な限り自立した生活を営むことができるよう、リハビリテーションを提供するサービスです。当院の訪問リハビリでは、身体機能・生活動作への介入にとどまらず、ケアマネジャー等との連携を重視し、在宅改修・福祉用具の調整やご家族様への介助指導、社会参加支援など、在宅生活に密着したリハビリテーションの提供を行っています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

お問い合わせ先
☎ 048-949-6600

定期巡回・随時対応型訪問介護・看護は、一日に複数回・短時間の定期訪問と突発時の緊急通報に対する随時訪問、また医療ニーズに対しての訪問看護を併用できる、新しい形の訪問サービスです。その人らしい暮らしを支えるために、利用者様の生活に合わせて援助計画を立案し、日々柔軟に対応します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

P2

P3